

日本川崎病学会 川崎病全国疫学調査

募集要領

1. 研究募集に至った背景

川崎病は川崎富作博士が初めて報告した乳幼児期に好発する原因不明の血管炎症候群である。川崎病の全国的な疫学像を明らかにするため、1970年にMCLS研究班（班長：神前章雄氏）が結成され、川崎病全国調査が開始された。その後、2022年まで半世紀以上にわたって川崎病全国調査が実施され、全国の小児科臨床医の協力のもと、高い悉皆性をもって経時的に川崎病疫学像を明らかにしてきた。しかし、第43回日本川崎病学会学術集会において、これまで継続的に川崎病全国調査の事務局を担当されてきた中村好一氏（自治医科大学名誉教授）から、第27回調査をもって終了する旨が述べられた。日本川崎病学会では、今後も継続して本邦における川崎病の疫学像を明らかにし、本邦のみならず世界に向けて情報発信することが川崎病の原因追及や新規治療法の開発に極めて重要であると判断した。そこで、日本川崎病学会が主導して新たな川崎病疫学研究を開始する方針とした。

2. 研究課題名

本邦における川崎病診療実態および予後を解明するための全国疫学調査
（川崎病全国疫学調査 2023-24：Japanese Nationwide Survey of Kawasaki Disease）

3. 応募要件

本事業の応募資格者は、国内の研究機関に所属し、かつ、主たる研究場所とし、応募に係る研究課題について、研究計画の策定や成果の取りまとめなどの責任を担う研究者（研究代表者）とする。

4. 求められる成果

2023年1月1日～2024年12月31日に発症した急性期川崎病患者の臨床情報を紙媒体・電子媒体等の手段によって収集し、疫学的特徴・臨床所見・治療内容・急性期予後等の集計表を作成すること。なお、本研究において使用する変数および集計表については第27回川崎病全国調査を参照して提案すること。

5. 採択条件

- ・ 川崎病に関する疫学研究実績を有すること。
- ・ 過去の川崎病全国調査の経緯や調査手法について理解し、電子的臨床情報収集システ

ムを含めたデータベースを構築したうえで過去の川崎病全国調査と同等の集計表を作成できること。

- ・ 本研究課題において収集した臨床情報を過去の川崎病全国調査結果と統合したうえで、比較可能性が担保された集計が可能となideきる手段を示すこと。
- ・ 研究計画の策定に当たっては法律、各府省が定める省令・倫理指針等を遵守すること。
- ・ 大規模なコホート研究のデータを扱うための専門知識を有する疫学者、川崎病に精通した医師、データベース構築等に精通したデータサイエンティスト等が、研究代表者または研究分担者として参加していることが望ましい。
- ・ 研究分担者又は研究協力者として、若手研究者・女性研究者を研究班に参画させるよう努めること。

6. 研究計画書類の作成・提出

日本川崎病学会の Web サイト (<https://www.jskd.jp/>) トップページ「Information」に募集要項および応募書類へのリンクを公開する。学会サイトにアクセス後ダウンロードして作成すること。作成した応募書類は電子メールによって日本川崎病学会事務局 (jskd-office@umin.ac.jp) まで提出すること。

研究計画書類受付期間：2024 年 1 月 4 日（木）～2024 年 1 月 31 日（水）

採択可否の通知：2024 年 3 月上旬（予定）

研究開始日：2024 年 4 月 1 日（月）予定

7. 採択後の留意点

- ・ 本研究に採択された研究課題は、日本川崎病研究センターが募集する川崎病に関する疫学調査研究に日本川崎病学会から推薦する。
- ・ 本研究課題で得られたデータを共同研究等で使用する場合は日本川崎病学会に報告し承認を得ること。
- ・ 本研究課題に基づき実施した川崎病疫学調査の集計結果は日本川崎病学会および日本川崎病研究センターと共同で報告書を作成し、日本川崎病学会および日本川崎病研究センターにて報告すること。